

ものづくり交流館展示紹介 #8 豊栄レース



住んでよかつた
住みたくなる…
綾部発
情報
すくらんぶる
63

市は、綾部駅北口の北部産業創造センター「綾部市ものづくり交流館」の展示スペースを1回5,000円で貸し出し、広報紙でも紹介しています。今回は、7月4日まで展示される豊栄レースです。

受け継がれる職人の技術

肌着などに使われるレースの製造を手掛ける豊栄レース（桜が丘三丁目）は、2004（平成16）年に操業を開始。日本で初めてレースの製造を手掛け、創業100年を迎えた豊栄繊維（京都市）の製造部門を子会社化したものです。同社の強みは、手作業にこだわったものづくり。職人の高い技術で編んだレースは2・5倍も伸縮し、履き心地が求められる下着などに多く



機械を使わず職人が手作業で「糸抜き」することで、端が滑らかでほつれにくいレース=写真右上=が作られる

採用されています。また、製造から出荷まで検品を5回も行うなど、高い品質は折り紙つきです。

肌触りの良いマスクが好評

今回は、同社が手掛けるさまざまなレースに加え、絹紡糸で作った腹巻きやマスクなどの新製品を展示します。絹糸とは通常、繭のくずなどを使って紡績する絹糸のこと。生糸より品質が劣ると思



取引先の廃業により譲り受けた「丸編み機」。指導を受けながら、特殊な生産技術を継承している



亀井 裕 取締役社長

私たちは「メイドイン綾部」にこだわり、丁寧なものづくりを続けています。今回は、高い品質が自慢のレースや新製品の睡眠用「カップリーニシルクマスク」など、さまざまな製品を展示します。マスクや腹巻きは現在、あやべ特産館（青野町）でも販売中。ぜひご覧ください。

われがちですが、同社の製品には特殊な糸「カップリーニシルク」を採用。豊栄繊維が京都工芸繊維大学などと共同開発したもので、保湿効果に優れ、毛羽立ちが少なく優しい肌触りが特徴です。同社はこの糸を、筒状に編める特殊な「丸編み機」Ⅱ写真右上Ⅱにかけ、編み地を製造。クラウドファンディングでマスクの商品化を目指したところ、目標金額の35倍の支援があるなど、注目を集めています。

■会社概要

名称	有限会社豊栄レース
代表者	取締役社長 亀井 裕
業種	編立製造業
資本金	900万円
従業員数	18人
電話	0773(45)3370
ホームページ	http://www.hoeisen-i.co.jp

「住んでよかつた 住みたくなる…綾部発情報すくらんぶる」は、綾部市の施策・制度・イベント・名所・活躍する個人や団体…など、綾部のホットな市政情報や旬の話題を幅広くお届けします。